

居るに、其痛手には一向頓着して居ない。切りと子猫の傷を甜めては、残りの子猫どもを遊ばせて居る、子猫どもは、親猫がこれほどの危い目に出遭つた事などは、少しも知らないで、相變らず親猫の尾を捕たり、ぶら下つたりして可愛い顔して遊んで居ました。

● 笑 草

み ず 子

○田舎者 或る田舎者が郵便局に行きまして、手紙を發送としますと、「此れは目方が重過るから今一枚印紙を貼らなくてはいけません」とゆはれたので、眼を圓くし口を開いて驚げた様子でゆーには「ハア、印紙を貼れば目方が軽くなるんで

すけー!』。

○看護婦の頓智 「先生! 只今妙な病人が参りまして、大層苦がつて居ります、早く行つて診察をやつてください」如何したのだ? 「インキを飲んだので御座いますと」其の病人をどーして置いた? 「一時凌に吸取紙を二枚飲まして置きました」  
「其では此方が行くには及ばす」。

○滑稽な答 某小學校の先生が或る時生徒に向ひ物は熱を受ければ膨脹れ、寒に遇へば收縮るとゆー事は解りましたか。解つた人は手を舉げて!」  
とゆいますと、一人の生徒が頻りに手を高く舉げますから、先生は「例を擧げて御覽なさい」と問いますと、其の生徒は起立して、「夏は日がのび、冬は日がちいまるじやーありませんか」と答へました。

○埋る許り、「お前私しが今ま 死んだら如何しますか？」と夫が其の妻に問ひますと、妻君は平氣な顔で、「唯だ穴を掘つて埋る許りですよ、」と答へました。

○頓智 甲「君、君はどーして左様に一生懸命體操なんかしているんだ？ ヨセー 體操なんかで飯が食るもんか」 乙「其でも僕は體操すると二三杯餘計食いるよ」

○柿本人丸 甲「僕は昨夕柿本の人丸に遇つたよ、乙「今頃柿本人丸が居るものか」甲「だつて僕は昨夕家へ歸る途中、柿の木の下に人の丸くなつて居たのを見たもの」

福引

(一)正月元日 天地を拜しかみを飾る(リボン)

(二)馬のお尻 バケツ

(三)五問題出て落弟 三枝の禮(三四の零)あり (鳩)

一羽)

(四)試験後の休み 苦痛濟(靴墨)

(五)不消化物 ようかんでお上り(羊羔一本)

問題

吳市 一狂生

(一)一村の利益の爲に開く會議を損(村)會といふは如何？

(二)越後に在る河を支那の(信濃)川といふは如何？